

魅力ある林業の構築と健全な森づくりをめざして

平成 22 年度版「富山県森林・林業白書」

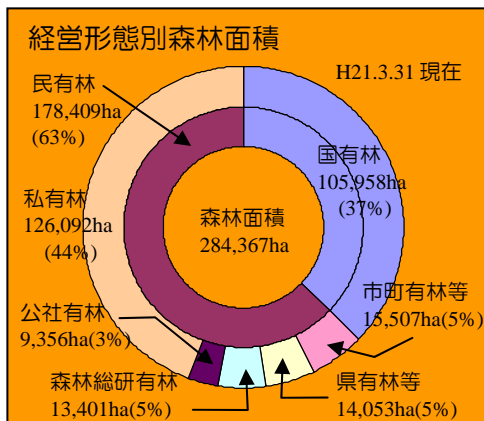


地域住民と協働で里山再生整備（富山市婦中町小長沢）

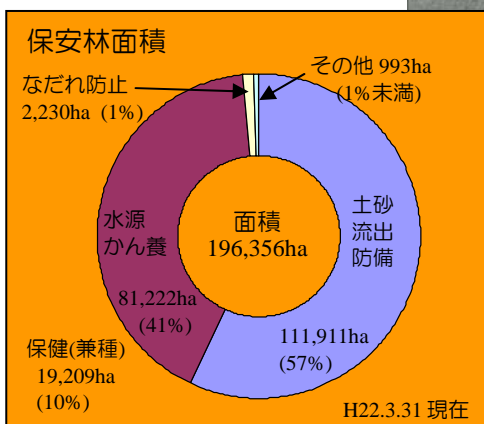


間伐実施後搬出を待つ県産スギ丸太（魚津市東山）

I 富山県森林・林業の姿



本県の森林面積は 284 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めており、比率は全国平均とほぼ同じとなっています。



公益上保全が必要な森林を対象に保安林に指定しており、保安林率は全国第 1 位の 69.0% となっています。

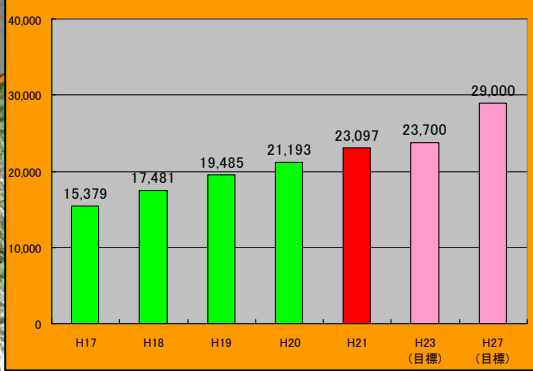
目次

- I 富山県森林・林業の姿…………… 1
- II 富山県森林・林業振興計画のポイント…………… 3
- III 計画実現のための重点対策と
平成 21 年度の主な取組み…………… 5
 - 1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策
 - 2 魅力ある林業の構築のための重点対策
- IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と実績…………… 14
- V 平成 21 年度の森林・林業に関する主な出来事…………… 15



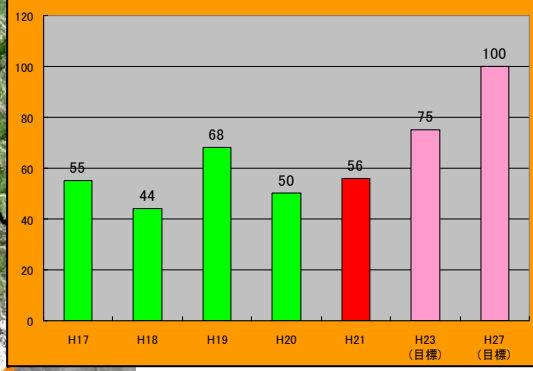


間伐実績累計の推移 (単位:h a)



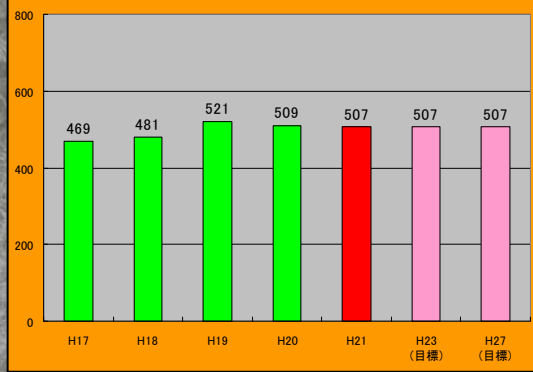
地球温暖化防止に向けた、二酸化炭素の吸収源対策として、間伐を重点とした森林整備を推進しています。

素材生産量の推移 (単位:千 m3)



新設住宅着工戸数の減少や、木材・木材製品価格の低迷により、素材生産量は停滞しています。

林業従事者数の推移 (単位:人)



間伐を重点とした森林整備の推進により、林業従事者は減少傾向から横ばいで推移しています。

カシミール3D: Copyright (C) 1994-2006 SUGIMOTO Tomohiko
 スカイビュースケープ: デジタル・アース・テクノロジー(株)

II 富山県森林・林業振興計画のポイント

本県森林・林業の現状と課題

目標

基本施策

施策の体系

とやまの森

- 里山が活用されなくなっている
- 人工林の適切な管理がされなくなっている

- 富山県森づくりプランに沿った森づくり

森林施業と林業生産

- 林業生産コストが高く、木材価格が低迷し、林業生産活動が低下
- 地球温暖化防止対策の推進

- 施業集約化団地の形成による林業の低コスト化の推進
- 路網整備の推進
- 間伐等森林整備の推進

県産材の利用促進

- 県産材の流通が複雑・高コスト
- 生産された県産材が十分に活用される体制が整っていない

- 流通の低コスト化
- 県産材製品を供給する製剤工場等の体制整備
- 県産材利用の促進と木の良さの普及啓発

人づくり

- 林業担い手の減少
- 森林ボランティアによる森づくり活動の取組拡大

- 施業集約化など低コスト化推進に必要な森林技術者の養成
- 担い手としての森林組合の経営基盤の強化
- 県民全体で支える森づくりの体制整備
- 技術開発と普及指導の推進

山を守る

- 山村の人口減少、高齢化の進行
- 近年、豪雨災害などが頻発
- カシノナガキクイムシによるナラ類の被害量が急増している

- 生活環境の整備と産業の振興
- 山地災害対策の推進
- 森林病害虫防除対策の推進

魅力ある林業の構築と健全な森づくりをめざして

1 森を活かす

2 木を使う

3 人を育てる

4 山を守る

1 多様な森づくりの推進 (富山県森づくりプラン)

- 「生産林」「混交林」「里山林」「保全林」の区分に応じた森林整備

2 地球温暖化防止に向けた森林整備

- 健全な人工林の育成と生産基盤の整備
- 健全な人工林の育成
- 林業生産コストの低減と森林・山村を守る路網整備

4 森づくりを支える県民意識の醸成

5 県産材の安定供給体制の整備

- 県産材の生産・流通体制の整備
- 需要者ニーズに対応した加工体制の整備

6 県産材の利用拡大

- 県産材の利用の拡大生産・流通体制の整備
- 木質バイオマスの利用促進

7 担い手の確保・育成

- 林業担い手センター等による担い手の確保と定着への支援
- 林業カレッジによる担い手の育成

8 経営基盤の強化

- 森林組合の経営基盤の強化
- 農林水産公社の経営改善
- 県営林の適正な管理・経営

9 森林ボランティア活動への支援

10 技術開発と普及指導の推進

- 技術開発の効率的推進
- 普及指導の推進
- 県民への情報提供

11 魅力ある山村づくり

- 生活環境の整備や定住環境の向上
- 特産林産物の生産振興

12 森林の適正な管理と保全

13 防災対策等の推進

平成21年度の主な取組内容

計画実現のための重点対策

- ④みどりの森再生事業
- ④里山再生整備事業
(● 竹林の整備や利活用の推進)
- 造林事業など森林整備事業(間伐の促進等)
- ④森林吸収源対策モデル事業
- ●元気な森再生事業
- 林道事業・④路網整備地域連携モデル事業
- 地域森林管理整備事業(境界確認)
- 森林整備地域活動支援交付金事業
- ④林業構造改善事業
(高性能林業機械の整備支援)
- ●施業集約化促進事業
(作業路ルート選定調査の支援)
- ●スギ花粉発生源対策事業
- ④とやまの森づくり普及啓発推進事業
- 木材産業体質強化緊急対策事業
- ●施業集約化促進事業:再掲
- ●木材加工流通施設整備事業
- とやまの木 PR 事業
(木材利用促進イベント及びアドバイザーの活動支援)
- ●県産材住宅普及促進事業
(県産材住宅の仕様、低コスト化の検討)
- ●県産材利用促進事業
(● 特別支援学校机・椅子、県産材遊具の開発)
- ●くつろ木空間整備促進事業
- ●地域材利用開発支援事業
- 木材技術開発研究費
(未利用資源の有効活用(木質ペレット化等))
- 林業担い手センター活動推進事業
- 富山県林業カレッジ運営推進事業
(低コスト生産を担う人材の育成)
- 森林組合指導事業
- 公営造林推進費、県営林造成事業
- ●とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業
- 林業・木材技術開発推進費
- 林業普及指導推進事業
- ●とやまの森づくり総合情報システム事業
- フォレストコミュニティ総合整備事業
- 特用林産対策事業
- 保安林整備事業等
- 森林病害虫防除事業・④里山再生整備事業
(カシノナガキクイムシの防除・枯損木除去)
- 治山事業(復旧・予防・海岸・保安林整備等)
- ●山地防災情報緊急整備事業

県民参加による
多様な森づくりの推進

魅力ある林業の構築

県民参加による
「里山林」と「混交林」の
整備の推進

- 水と緑の森づくり税を活用した里山の再生整備と混交林の整備
- 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

持続可能な
林業経営の推進

- 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
- 作業路網整備の支援
- 高性能林業機械の整備支援

県民による県産材の
有効利用の促進

- 水と緑の森づくり税を活用した県産材の利用促進
- 木質バイオマスの利用促進

県産材の新たな
流通システムの構築

- 直送方式による流通の低コスト化の促進

森林ボランティア
活動への支援

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供

とやまの林業を支える
人材の育成

- 富山県林業カレッジの研修による魅力ある林業に期待される役割に応じた人材の育成

魅力ある山村社会の形成と森林の適正な管理・保全の促進

- 地域住民による森林管理及び利活用の促進
- 地域林業の振興による山村経済の活性化

※ 青地は、「県民参加による多様な森づくりの推進」のための重点取組

※ 赤字は、「魅力ある林業の構築」のための重点取組

※ ●はH21新規事業 ●は水と緑の森づくり事業 ●は富山県森林整備・林業再生基金を活用した事業

Ⅲ 計画実現のための重点対策と平成 21 年度の主な取組み

1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策

「森を活かす」ー県民参加による「里山林」と「混交林」の整備の推進ー

- 「里山林」や「混交林」の整備については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し、進めることとします。
 - ・ 「里山林」は「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
 - ・ 「混交林」は「みどりの森再生事業」により整備を進め、この混交林の整備に必要な県産広葉樹苗の育成やその植栽の一部についても、県民参加により進めることとします。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、水と緑の森づくり税を活用した「とやまの森づくり普及啓発推進事業」により、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成 21 年度に講じた施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備
- ① 市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林など再生整備に取り組みました。
【実績】・121 地区（14 市町）1,073ha、
・地域住民等の参加人数 5,930 人
 - ② 主要道路沿線などで、カシノナガキクイムシの被害を受けた枯損木を除去しました。
【実績】・54 地区（14 市町）3,370m³

地域住民による里山林の整備



〈里山整備前〉



〈里山整備後〉



- ③ 竹林の適切な管理を進めるため、地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

【実績】

- ・かぐや姫の里のデビュー講座の開催
（穂先タケノコなど新たな利用方法の指導など）
5月9日 121 名参加
- ・とやまの竹資源ネットワークの結成
〔竹林所有者や竹資源利用団体などを結びつけ、
技術講習や情報を提供〕
3月末現在 55 団体登録
- ・とやまの竹利用アイデアコンテストの実施
6月4日～8月10日 99 点応募
- ・かぐや姫の里の集いの開催
（竹林の管理技術、竹材の利用方法などの体験）
10月24日 250 名参加

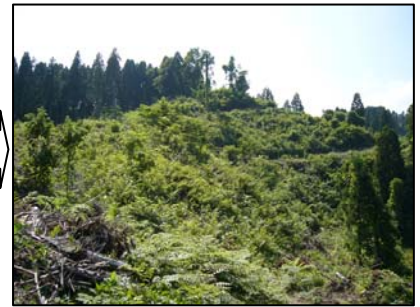
かぐや姫の里デビュー講座の開催



● 水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備

① 風雪被害林を受けた人工林や、手入れ不足で過密となった人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

- 【実績】・風雪被害林の整備 30.5ha
 ・過密人工林の整備 101.7ha
 〈被害直後〉 〈植栽活動〉 〈植生回復〉



② 混交林の整備などに必要な県産広葉樹苗を県民の皆さんとともに育てる「みどりの里親事業」を実施しました。

- 【実績】
 ・11月7日 南砺市法林寺で植樹イベント「みどりの里親の集い」を開催 185人参加
 ・とやまの森づくりサポートセンターでコナラなどの苗 30,000本を育成

みどりの里親の集いの開催



● 「森の寺子屋」などによる森林環境教育の推進

① 県民の森づくりの理解を深め、県民参加を推進するため、平成20年度に作成した「とやま森の教本」を積極的に活用し、フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。

- 【実績】・「森の寺子屋」の開催 85回

② 「第10回とやま森の祭典」を開催し、行政と県民が一体となった森づくり活動を実施しました。

- 【実績】・5月23日 上市町ふるさと親自然公園で開催 約2,000人参加

森の寺子屋の開催



第10回とやま森の祭典の開催



[平成22年度に講じる施策]

● 水と緑の森づくり税を活用した里山林の再生整備と混交林の整備

- ① 地域住民との協働による里山林の整備や風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を進めます。
 ② 竹林の利活用を推進するための「かぐや姫の里づくり体験」や竹資源ネットワークへの支援に引き続き取組むほか、「穂先タケノコ」の利用・推進するため調理パンフレットを作成、無償配布します。

● 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

「森の寺子屋」では、平成20年度に作成した「とやま森の教本」を積極的に活用します。

「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、「県産材アドバイザー」の活動支援などの従来からの取組みに加え、県産材住宅への無利子融資制度など、県産材を利用した住宅建設の促進に取組みます。
- 水と緑の森づくり税を活用し、県内で開催されるイベントへの1万ピースの県産材積み木の貸し出し、生徒・学童机天板の県産材への置換えや公共施設等の内装木質化への支援などにより、県民にとやまの木の良さを分かってもらえるよう、積極的なPRに努めます。

[平成 21 年度に講じた施策]

- 県産材のアドバイザーの活動促進
県産材の良さや使い方をアドバイスする「とやま県産材アドバイザー」の活動を支援しました。
【実績】
 - ・住宅相談会の実施 9箇所
 - ・フォローアップ研修の開催 2回
 - ・県産材住宅のホームページ「とやまの木のいえ」の開設し、県産材情報などを発信しました。
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/kinoie/index.html>
- 木の良さPRイベントの開催支援
木材研究所を活用した体験型イベント「木と住まいフェア 2009」の開催を支援しました。
【実績】
 - ・参加者 約 80 人（10月9日、研究成果発表会）
 - ・参加者 約 800 人（10月10日）
- 水と緑の森づくり税を活用した県産材の利用促進
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を支援しました。
【実績】
 - ・県産材くつろ木事業（県産材ベンチの設置）80基（外数：企業協賛5基）
 - ・イベント用積み木貸出 28回
 - ・県産材こどもの城づくり事業（屋外遊具の設置）2箇所（双葉保育園、藤ノ木幼稚園）
 - ・森に親しむ学び舎づくり事業
学童用机天板の置換え 23校（262枚）
特別支援学校用机・椅子の開発
 - ・木の香るまちづくり事業（内装木質化）12施設
 - ・とやま木育推進事業（県産材遊具の開発）5作品

県産材アドバイザーによる住宅相談会



木と住まいフェア「2009」の開催



とやまの木を使った遊具の開発



[平成 22 年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進
県産材住宅の建設促進に向けて、補助制度を新設します。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる『木育』の推進
県産材を用いた特別支援学校用の机・椅子や幼児用遊具の開発などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。
- 木質バイオマスのエネルギー利用に向けた取組
林地残材をペレット等に加工してエネルギー利用するための実証調査を行います。

「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくり活動の裾野拡大を進めます。

[平成 21 年度に講じた施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
 - ① ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
 - ② サポートセンター及び登録会員のPRパネルの作成・展示
 - ③ 情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
 - ④ 安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
 - ⑤ 技術研修（森づくり塾）の開催
 - ⑥ 自らのプログラムの実施や企画・運営できるチームの養成
 - ⑦ 登録団体の交流支援など

【実績】

- ・平成 22 年 3 月末現在登録団体等
67 団体（3,559 人）、個人 74 人、37 企業

- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供

- ① とやまの森づくりホームページを開設し、「水と緑の森づくり事業」の実施状況などを情報発信しました。

【実績】

- とやまの森づくりホームページで公開した情報
- ・里山再生や混交林整備の取り組み状況
 - ・とやま県産材ベンチ設置箇所や提案事業の募集
 - ・穂先タケノコの採取と利用方法
 - ・地球温暖化対策と森林
- アクセス件数 20,012(平成 22 年 3 月 31 日現在)

- ② 平成 20 年度に把握したスギ・竹林の分布データを「森林GISシステム」に取り込み、里山再生整備事業等の竹林整備計画の策定に活用しました。

森林ボランティア活動への支援



技術研修（森づくり塾）の開催



とやまの森づくりホームページ



[平成 22 年度に講じる施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
登録ボランティア団体の自主的な安全講習会開催への支援など、活動強化を進めます。
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
森林計画図や森林簿を、里山地域の住民やボランティア団体等が森づくり活動に取り組む際の資料として提供できるよう、システム改修を行います。

2 魅力ある林業の構築のための重点対策

「森を活かす」—持続可能な林業経営の推進—

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“植える（植栽）→育てる（保育）→収穫する（伐採）”という「循環する森づくり」を進め、森林整備を促進します。
 - ① 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
 - ② 低コスト作業路網の整備や、高性能林業機械の整備支援

[平成 21 年度に講じた施策]

● 富山県森林整備・林業再生基金の創設

国の緊急経済対策による事業を活用して、平成 21 年 6 月に、富山県森林整備・林業再生基金（総額 20 億円）を創設しました。この基金により、平成 21 年度から 3 年間で、川上では、施業を集約した団地での間伐や作業路網の整備、高性能林業機械の整備などにより効率的な林業経営を推進し、川下では、木材加工流通施設の整備、公共施設の内装木質化、地域材利用開発などの県産材の利用促進に重点的に取り組むこととしています。

● 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進

県内 10 地区（389 ha）を施業集約化モデル団地に設定して、木材搬出コストの低減につながる、高密路網のルート選定を支援しました。

【実績】

・高密路網のルート選定調査	27,227 m
・団地内の作業道等開設延長	7,363 m
・団地内の間伐実施面積	71.7 ha
・団地内の木材生産量	2,601 m ³

● 作業路網整備の支援

県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、作業道や作業路の整備を行いました。

【実績】

・作業道開設	47 km
・作業路開設	14 km

● 高性能林業機械の整備支援

県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、効率的に伐採等作業を進めるため、高性能林業機械の整備に支援しました。

【実績】

・スィングヤーダ	1 台
・フォワーダ	2 台
・ハーベスタ	1 台

森林所有者等による高密路網のルート選定



施業集約化を促進する作業道



ハーベスタによる木材生産



● 地球温暖防止のための森林整備の推進

スギ人工林の間伐や広葉樹林の整備等、二酸化炭素の森林吸収源対策を推進しました。（平成 19 年度から 6 年間で 12,700ha の森林整備を実施することとしています。）

【実績】

・ 造林事業	969 ha
・ 治山事業	139 ha
・ 水と緑の森づくり事業	465 ha
・ 県単独森林整備事業等	89 ha
・ 森林吸収源対策モデル事業	206 ha
・ その他（機構造林等）	399 ha

計 2,267 ha（H19~21 の 3 年間で 6,795 ha 実施）

間伐を実施したスギ人工林



[平成 22 年度に講じる施策]

● 施業集約化による木材生産の促進

作業道ルート選定調査など引き続き施業集約化への支援を実施し、取組みの拡大を進めます。

● 作業路網及び高性能林業機械の整備

施業集約化に取組む地域での作業路網や高性能林業機械の整備を重点的に支援し、低コスト木材生産を促進します。

● 間伐等森林整備の推進

二酸化炭素の吸収源を確保するため、引き続き、間伐等の森林整備を推進します。

「木を使う」ー県産材の新たな流通システムの構築ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 新たな流通システムの構築のため、出材者から製材工場関係者間で合意形成を図ります。

[平成 21 年度に講じた施策]

● 県産材の流通体制の整備

- ① 「富山県森林整備・林業再生基金」を推進するため設置した協議会の中で、出材者と製材関係者との県産材安定供給の締結に向けた具体的な協議を開始しました。

協定が締結されたもののうち、新たな木材加工施設整備が必要な施設については、「森林整備・林業再生基金」を活用して支援しました。

【実績】

・ 木材乾燥施設整備	1 箇所
・ 製品保管庫等整備	1 箇所

森林整備・林業再生基金協議会の開催



- ② 緊急雇用対策の支援制度を活用し、県産材の生産・加工から流通・消費に至る関係事業者の実情を調査しました。

【実績】 調査対象

- ・ 素材生産業 99 者、製材加工業 103 者、卸・小売業 85 者、住宅建築業 132 者など

[平成 22 年度に講じる施策]

● 流通の低コスト化

- ・ 安定取引協定の締結などによる出材者と製材関係者との連携と合意形成を進めます。
- ・ 乾燥機等木材加工流通施設整備を支援し、取組みの拡大を進めます。

「人を育てる」ーとやまの林業を支える人材の育成ー

- 林業カレッジの研修により期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
 - ① 路網計画（低コスト作業路を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
 - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
 - ③ 民間事業者に対する技術的指導

[平成 21 年度に講じた施策]

- 富山県林業カレッジの研修による期待される役割に応じた人材の育成
 - ① 路網計画や長伐期施業計画、森林収支計画などの総合的な広域プランを作成することのできる技術者を養成しました。
【実績】研修期間 10 日間、5 名養成
 - ② 施業地に適応する伐採・搬出の作業システムに対応した簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設する技術者を養成しました。
【実績】研修期間 10 日間、4 名養成
 - ③ 高性能林業機械のメンテナンス技術の習得、及び高度で熟達した機械操作技術の習得のための研修を実施しました。
【実績】研修期間 5 日間、4 名受講
 - ④ 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。
【実績】研修期間 35 日間、15 名受講
 - ⑤ 林業への就業を支援する講習を実施しました。
【実績】講習期間 18 日間、26 名受講
うち 4 名が県内の林業事業体に就業しました。

- 施業集約化の促進に向けた作業員のスキルアップ
先進的な取り組みを実践している京都府日吉町森林組合の理事や、富士通総研経済研究所の研究員を講師として、施業集約化を進めるための森林管理技術研修会を開催しました。

【実績】・第 1 回研修会 4 月 19 日～20 日
参加人数 70 名
・第 2 回研修会 7 月 2 日
参加人数 54 名

低コスト作業道のルート選定実習



高性能林業機械のメンテナンス実習



森林管理技術研修会の開催



[平成 22 年度に講じる施策]

- 期待される役割に応じた人材の育成
県産材の低コスト生産を担う技術者の育成研修など、引き続き富山県林業カレッジ研修への支援を実施します。
- 林業への新規就業者の拡大
緊急雇用対策の支援制度を活用し、林業への新規就業につなげます。

「山を守る」－魅力ある山村社会の形成と森林の適正な管理・保全の促進－

[平成 21 年度に講じた施策]

● 山のみち地域づくり交付金事業への取り組み

森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」の整備を実施しました。

【実績】開設延長

・宮崎・蛭谷線	0.8 km
・福平・東城線	0.6 km
・有峰線	0.5 km
・大沢野・八尾線	0.4 km
・上平・福光線	0.2 km
計	2.5 km

山村環境を改善する林道



● 保安林の適正な管理への取り組み

公益上必要な森林について、保安林に指定しました。また、保安林管理を強化するために、保安林等調査員を8名設置し、森林被害や保安林標識の破損等の調査を実施しました。

【実績】保安林指定面積

・水源かん養保安林	80.3 ha
・なだれ防止保安林	14.8 ha
・その他保安林	5.4 ha

保安林パトロール車ステッカー



● 森林病害虫に対する適切な防除の実施

平成 14 年に南砺市で初めて被害が確認され、里山を中心に県下全域へと拡散したカシノナガキクイムシ防除するため、地域住民と関わりが深い箇所等で、被害木の伐倒駆除を実施しました。被害の区域は西から東へと移動・拡大しています。

また、海岸保安林など保全すべき松林を松くい虫被害から守るため、地上散布や伐倒駆除を実施しました。

【実績】

・カシノナガキクイムシ対策

伐倒駆除	14 市町	724 m ²
樹幹注入	7 市町	592 本
過年度枯損木除去	14 市町	3,370 m ²

・松くい虫対策

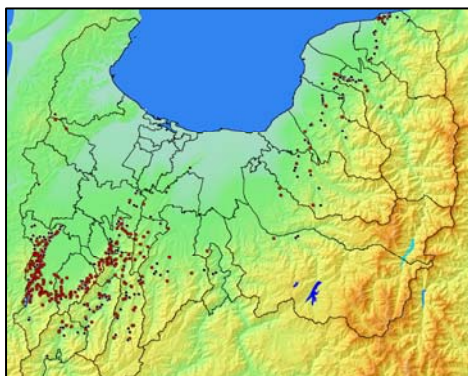
薬剤地上散布	2 市町	19 ha
伐倒駆除	6 市町	94 m ²
樹幹注入	3 市町	44 本

〈カシノナガキクイムシの成虫〉

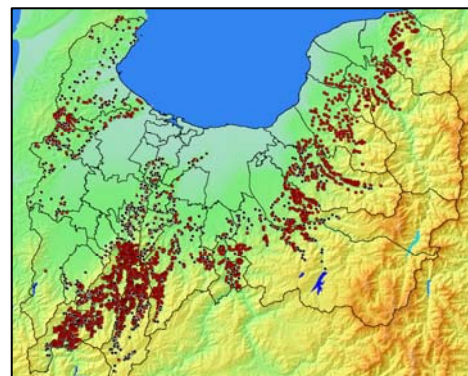


(参考) カシノナガキクイムシの被害状況の変遷

〈H17 7,195 m²〉



〈H21 32,624 m²〉



● 災害に強い山づくりの推進

平成 21 年 3 月「災害に強い山づくり検討委員会」から、土石流や流木災害の未然防止・軽減に関する対策についての提言を受け、平成 21 年度は治山施設の整備、山地災害危険地区の電子データ化、ハザードマップの作成等、ハード、ソフトの両面から、災害に強い山づくりに向けて整備を実施しました。

【実績】

- ・ 治山事業（南砺市他 12 市町 97 箇所）
- ・ 山地災害危険地区電子化
- ・ ハザードマップ作成

● 水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、本数調整伐等の森林整備を実施しました。

【実績】

- ・ 水源地域整備事業（南砺市他 7 市町 15 箇所）

● 山地災害危険地区の整備の推進

災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・ 復旧治山事業（朝日町他 9 市町 18 箇所）
- ・ 予防治山事業（氷見市他 3 市 8 箇所）
- ・ 地域防災対策総合治山事業（黒部市他 1 市 2 箇所）

● 雪害防止対策の推進

なだれ防止林の維持・造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施しました。

【実績】

- ・ なだれ防止林造成事業（富山市他 1 市 2 箇所）

● 海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び保育等の維持管理を実施しました。

【実績】

- ・ 海岸防災林造成事業（入善町 2 箇所）

H20.7 豪雨により被災した治山ダム



復旧工事後の状況



水源の森林づくりの推進



[平成 22 年度に講じる施策]

● 山のみち地域づくり交付金事業への取組み

路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により進捗を図り、事業効果の早期実現に努めます。

● 森林病虫害に対する適切な防除の実施

カシノナガキクイムシや松くい虫の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除や保全すべき樹木への薬剤注入を実施します。

● 災害に強い山づくりの推進

- ① 山地災害危険情報を住民へ周知し、住民の安全確保を図ります。
- ② 治山施設情報を活用し、既存治山施設の適切な管理による豪雨時等の被害軽減に努めます。
- ③ 保安林等調査員の調査結果を、災害の早期復旧や保安林管理の適正化に役立てます。

IV 富山県森林・林業振興計画目標指標と実績

区分	指標番号	指標名	単位	実績		目標	
				基準年 (H17)	H21末	中間目標 (H23)	終期目標 (H27)
森を活かす	1	間伐実施面積（累計）	ha	15,379	23,097	23,700	29,000
	2	混交林の整備（H19～）	ha	—	268	1,000	2,000
	3	里山林の整備（H19～）	ha	—	1,073	1,000	2,000
	4	保安林の指定面積 （民有林）	ha	(H18) 91,410	91,715	91,900	92,300
	5	富山県森林吸収量確保推進 計画(H19~H24)	ha	—	6,795	10,580	(H24) 12,700
	6	施業集約化団地数 （累計H20～）	箇所	—	16	100	150
	7	林道延長（累計）	Km	1,655	1,687	1,720	1,763
	8	作業道延長（累計）	Km	877	1,034	1,160	1,240
		林内路網延長（累計）	Km	4,647	4,789	4,987	5,088
林内路網密度		m/ha	26.1	26.8	28.0	28.5	
林道密度		m/ha	8.7	8.8	8.9	9.1	
9	「森の寺子屋」の年間開催 回数	回	(H19) 46	85	60	80	
木を使う	10	県産材素材生産量	千m ³	(H18) 44	56	75	100
	11	乾燥材生産量の割合	%	(H16) 11.5	29.8	23	29
	12	公共施設等に使用する木材 に対する県産材の割合	%	70.6	79.9	76	80
人を育てる	13	林業従事者	人	(H16) 507	507	507	507
	14	林業に従事する際に必要と なる資格保有率	%	(H19) 30.9	36.6	45.5	60.0
	15	低コスト作業路開設技術者 養成数	人	—	10	20	40
	16	森林組合数	組合	8	4	2	2
	17	分収造林契約変更済延人数	人・団	—	247	5,300	6,631
	18	県民参加による森づくりの 年間参加延べ人数	人	1,672	10,999	6,000	7,000
	19	研究の実用化件数 (H19以降の累計)	件	—	6	10	18
山を守る	20	年間キノコ生産量	トン	3,357	3,476	3,525	3,525
	21	山地災害危険地区着手数	箇所	1,213	1,243	1,246	1,266
	22	なだれ危険箇所における整 備箇所数	箇所	196	201	202	206
	23	海岸保安林整備延長	m	3,382	4,212	4,455	5,175

（注）間伐材の利用を加速化するため、指標番号5「施業集約化団地数」及び、8「作業道延長」の目標値を上方修正しました。

V 平成 21 年度の森林・林業に関する主な出来事

4月19日	● 森林管理技術研修会（第1回）〔富山市八尾町茗ヶ原〕
4月22日	● 富山県水と緑の森づくり会議（第1回）
4月26日	● とやまの森づくりボランティア交流会〔滑川市東福寺野〕
5月 9日	● かぐや姫の里デビュー講座〔氷見市上田〕
5月29日	● 第10回とやま森の祭典〔上市町ふるさと親自然公園〕
6月10日	● 富山県森林審議会森づくり部会（水と緑の森づくり事業の評価）
6月21日	● 飛越源流の森づくり（第1回）〔岐阜県飛騨市〕
6月25日	● とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第1回）
6月26日	● 富山県森林整備・林業再生基金創設
7月 2日	● 森林管理技術研修会（第2回）〔魚津市〕
7月11日	● とやまの竹資源ネットワーク結成/第1回講習会〔高岡市〕
7月15日	● 富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会設立総会〔富山市〕
8月 1日	● 草刈り十字軍入山式〔富山市富岩運河環水公園〕
8月 5日	● 富山県森林審議会森林保全部会（林地開発の許可）
8月 8日	● こどもの城づくり「森の見学会」〔富山市割山森林公園〕
8月27日	● とやまの木を使った遊具製作検討委員会（第1回）
9月 8日	● 第46回関東中部地区治山林道研究発表会〔富山市〕
9月20日	● とやまの森づくりボランティアの集い〔小矢部市論田〕
9月29日	● とやまの竹利用アイデアコンテスト第2次審査会
10月 9日～10日	● とやま木と住まいフェア2009〔射水市黒河新〕
10月18日	● 飛越源流の森づくり（第2回）〔岐阜県飛騨市〕
10月24日	● かぐや姫の里の集い〔氷見市上田〕
10月27日	● 富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第2回）〔富山市〕
10月28日	● 県産材アドバイザーフォローアップ研修（第1回）〔富山市〕
11月 1日	● こどもの城完成式〔富山市藤ノ木、高岡市永楽町〕
11月 2日	● とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第2回）
11月 7日	● みどりの里親の集い〔南砺市法林寺〕
12月 4日	● 富山県水と緑の森づくり会議（第2回）〔富山市〕
12月21日	● 富山県森林審議会総会〔富山市〕
12月21日	● 県産材住宅検討委員会（第1回）〔射水市〕
平成22年	
2月 4日	● 県産材住宅検討委員会（第2回）〔射水市〕
2月19日	● 木質ペレット利用促進セミナー〔富山市〕
2月28日	● フォレストリーダースキルアップ研修（第1回）〔富山市〕
3月 3日	● 県産材アドバイザーフォローアップ研修（第2回）〔射水市〕
3月 6日	● とやまの竹資源ネットワーク第2回講習会〔高岡市〕
3月10日	● とやまの森づくりサポートセンター懇話会
3月13日	● フォレストリーダースキルアップ研修（第2回）
3月16日	● 県産材住宅検討委員会（第3回）〔富山市〕
3月23日	● とやまの木を使った遊具製作検討委員会（第2回）
3月24日	● 富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第3回）

お問い合わせ先 富山県森林政策課
 〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL(076)444-3385
 富山県森林・林業振興計画は下記からダウンロードできます。
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00006992.html